

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

2018

October
No.1080

10月

表紙

ほんべつきらめきタウンフェスティバル2018 ポニーばんば大会では実行委員会役員らが激しいレースを展開



Pick up

- ✿ 全道的に大規模な停電
- ✿ 町国民健康保険病院に地域連携室を開設します
- ✿ 来年4月ごみの分別が変更 説明会を開催します
- ✿ 開町記念式典で6人の功労者を表彰

平成30年北海道胆振東部地震が発生

全道的に大規模な停電

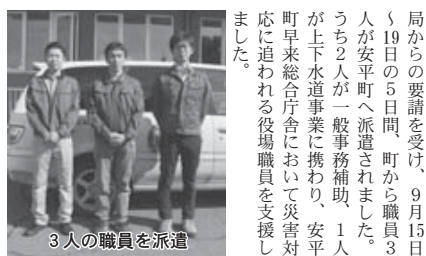
9月6日午前3時7分、マグニチュード6.7を記録する平成30年北海道胆振東部地震が発生しました。この地震により厚真町では震度7を記録するなど胆振地方を中心に死者が多数出るなど、全道各地で大きな被害を受けました。

本別町では震度3を計測しましたが、地震直後から道内全域で発生した大規模な停電により日常生活に大きな支障を来しました。

大規模な停電により、町内でも家庭への電気が止まり、街路灯や信号なども消灯するなど町内は闇に包まれ、電力供給のない状況での生活基盤の脆弱さを感じ知らされることとなりました。朝になっても停電は続き、町内の小・中学校は6日、本別高校は6〜7日が臨時休校。町国民健康保険病院では6日の外来が休診となりました。町では支援が必要な高齢者に対して、訪問や電話確認を行いました。7日早朝から町内の一部地域では電力が供給され始め、小・中学校では通学を、同病院も外来受け付けを再開。太陽の丘循



商工会青年部の炊き出し



3人の職員を派遣



7日朝、町内の小中学校が通学再開。信号機がつかず、警察官のほか教育委員会や学校の職員が誘導しました

いざというとき慌てないように 災害に備えましょう

今回の大規模停電時には、停電発生直後にカセットコンロや乾電池などを購入する人が多く見られました。「災害は忘れたころにやってくる」とよく言われます。自然の猛威を防ぐことは難しく、災害はいつ起こるか分かりません。日ごろからの備えを大切にし、万が一災害が発生した場合にも落ち着いて行動できる準備をしておきましょう。

災害時に命を守る防災対策

地震などの自然災害は、時として、想像を超える力で襲ってきます。しかし、日ごろから防災対策をしておくことで、被害を少なくすることはできます。

一番大切なのは、一人ひとりが取り組む防災

災害による被害をできるだけ少なくするためには、一人ひとりが自ら取り組む「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合う「共助」、国や地方公共団体などが行う「公助」の3つの役割があると言われてます。その中でも基本は「自助」で、自分の身の安全を守ることです。特に災害発生時は、自分が無事であることが最も重要です。まず、災害に備え、自分の家の安全対策や、家の外で地震などに遭遇したときの、身の安全の守り方を知っておくことが必要です。また、身の安全を確保し、生き延びるためには、水や食料などの備えが必要です。防災対策には、十分とか絶対大丈夫というものはありません。一人ひとりが、自分の周りや、どのような災害の危険が及ぶのかを考えた被害を少なくするために必要な対策を講じることが重要です。

家の中の安全対策

寝室や子ども部屋などには、できるだけ家具を置かないようにしましょう。転倒防止対策をとりましょう。また、家具の向きや配置を工夫し、転倒しないよう壁に固定しておきましょう。



地震が発生したときの身の守り方

気象庁の「緊急地震速報」を活用することで、強い揺れが来ることをわかって、身の安全を守る行動をとることができます。

ライフラインの停止や避難に備えておく

大災害が発生したときには、電気やガス、水道、通信などのライフラインが止まってしまふ可能性があります。ライフラインが止まっても自力で生活できるように、普段から飲料水や非常食などを備蓄しておくことが大

被災地へ職員派遣

今回の地震で被災した市町村を支援するため、十勝総合振興局からの要請を受け、9月15日〜19日の5日間、町から職員3人が安平町へ派遣されました。うち2人が一般事務補助、1人が上下水道事業に携わり、安平町早来総合庁舎において災害対応に追われる役場職員を支援しました。

無理のない範囲での節電をお願いします

今回の道内における大規模停電以降、復旧・復興に向けて道民全体で節電に取り組んでまいりましたが、9月19日には北海道電力苫東厚真1号機の安定的な定格運転が可能な状態が確保されるなど、他の発電所にトラブル停止等がなければ電力需給は安定化していくことから、計画停電や節電の要請は必要なくなりました。これから冬に向けては、例年通りの「無理のない範囲での節電」にご協力をお願いします。

災害時に備えた備蓄品の例

- ・ 飲料水 一人一日3リットルを目安に、3日分を用意
- ・ 食品 ご飯(アルファ米など)、ビスケット、板チョコ、乾パンなど、一人最低3日分の食料を備蓄しておきましょう
- ・ 下着、衣類、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、マツチ、ろうそく、カセットこんろ、ポータブルストーブ(電池式)、乾電池
- ※ 飲料水とは別に、物を洗う、トイレを流すための水も必要です。日ごろから水道水を入れたポリタンクを用意する、風呂水をいっしょにためておくなどの備えをしておきましょう

安否情報の確認方法を家族で決めておく

家族がそれぞれ別々の場所にいるときに災害が発生したときには、お互いの安否を確認できるように、日ごろから安否確認の方法や集合場所などを家族で話し合っておきましょう。

【参考元】政府広報オンライン

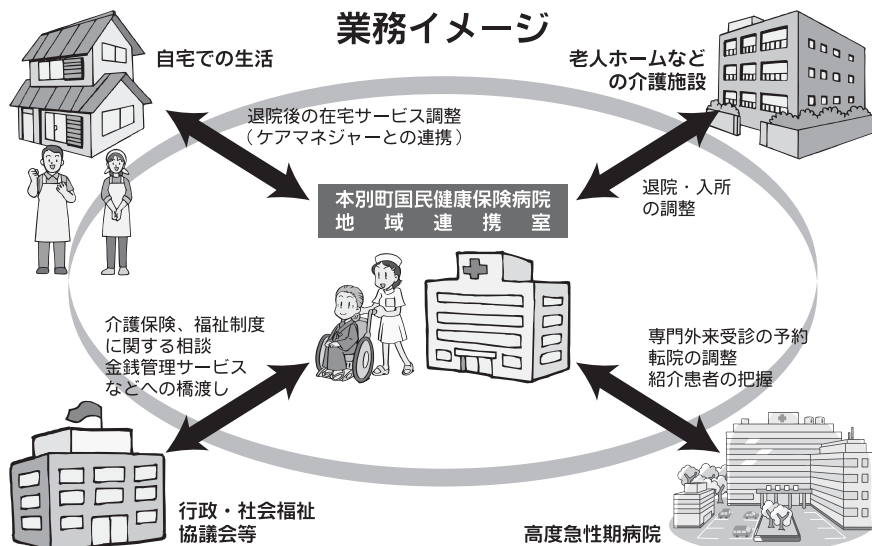


- ### 非常持ち出し品の例
- ・ 飲料水、食料品(カップめん、缶詰、ビスケットなど)
 - ・ 貴重品(預金通帳、印鑑、現金)

住民課環境生活担当 0221-811280

地域連携室の主な業務

- ① 紹介患者の予約業務
- ② 医療機関や関係施設への連絡調整
- ③ 紹介患者に対する元医療機関への経過および結果報告を確実にするための管理
- ④ 紹介患者の把握、紹介元への入退院報告
- ⑤ 他医療機関への逆紹介（診療予約申し込み）
- ⑥ 入院支援・退院支援（在宅療養・転院・施設入所等）
- ⑦ 入院・来院患者の介護保険、福祉サービスへの橋渡し
- ⑧ 入院・来院患者の経済的・心理的・社会問題に関して適切なサービスへの橋渡し
- ⑨ その他各種相談
- ⑩ その他広報活動



本別町国民健康保健病院 地域連携室を開設します



町国民健康保険病院（国保病院）では、地域の医療機関や保健・福祉サービス機関との連携の窓口として、患者さんに切れ目のない医療・看護・介護サービスが提供できるように支援・調整することを目的に10月1日、地域連携室を開設します。

地域包括ケアシステムの構築

国では、団塊の世代が75歳となる2025年を目標に、高齢者が住み慣れた地域で、できる限り自分らしい生活が続けられるよう、医療・介護・予防・住まい等の支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築を目指しています。

地域包括ケアシステムを推進するには、高齢者一人ひとりの状態に応じて、医療や介護等のサービスを提供する関係者が情報を共有して対応していかねればなりません。

医療との連携を強化

本町においても、認知症やひとり暮らしになっても住み慣れた「ほんべつ」という地域での暮らしを継続できることを目指し、これまで主に介護・福祉関連サービスでの取り組みを進めてきました。

これからは医療との連携を今まで以上に進め、町民が安心して暮らし続けられるよう国保病院内に新たに「地域連携室」を開設し、国保病院と町外の病院、また国保病院と介護・福祉サービスとの連携を深めていくこととしました。

地域連携室とは

地域連携室は、他の病院から国保病院への転院や紹介による外来受診、また、反対に国保病院から他の病院への転院や専門医の受診の際に窓口となり、スムーズな受診ができるよう連絡調整を行うところです。また、入院患者の経済的な悩み等の相談に対応し、適切な援助が受けられるような調整を行います。これらの活動を通じて、在宅医療サービスや介護福祉サービス事業者と情報を共有し、それぞれの患者の状態に応じた適切なサービスを提供できるよう取り組んでいきます。

**患者さんの立場にたって
きめの細かい連携をとれるよう努めます**

相談時間

午前9時～正午
午後1時～午後5時

ごあいさつ

日ごろより、国保病院をご利用いただき心より感謝申し上げます。

国保病院は町内唯一の入院可能な医療機関として、町民の皆さまの暮らしの安心を支える役割を担っています。

このたびの地域連携室の開設により、地域包括ケアの実現に向け、他の医療機関、介護福祉サービス事業所との連携を今まで以上に深め、より良い医療サービスが提供できるよう職員一同取り組んでまいりますので、ご不明な点などございましたらお気軽にご相談ください。

地域連携室スタッフ（右から）

同室室長 一条 正彦（国保病院院長）

同室副主査 三浦 由貴（社会福祉士）

同室スタッフ 本寺 晴美（事務）

問い合わせ 町国民健康保険病院 地域連携室 ☎22-2025

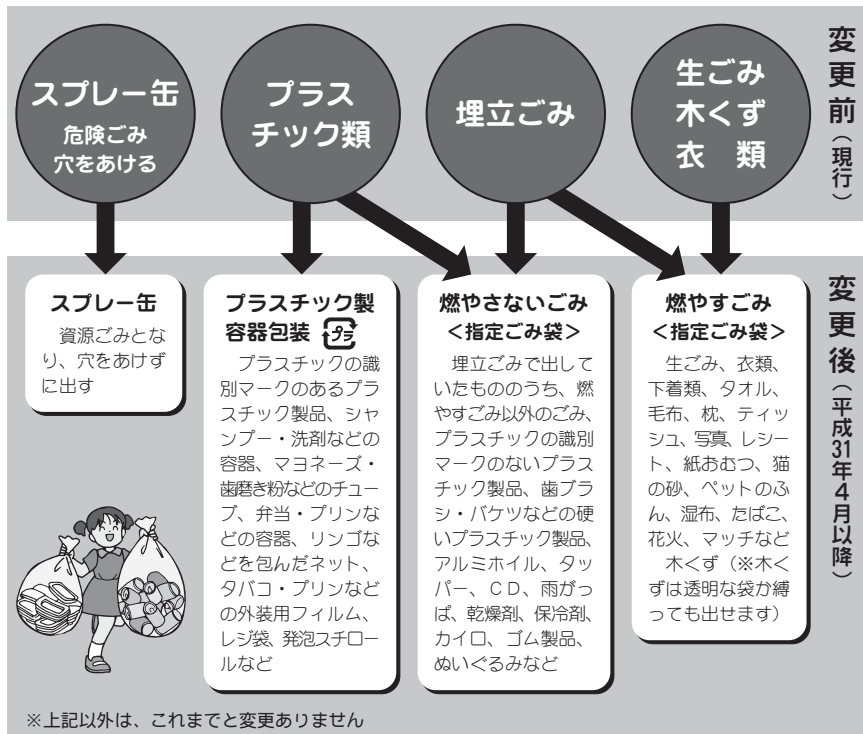
平成31年4月よりごみの分別が変わります

〜ごみの出し方の説明会を開催します〜

本町では、平成14年12月から足寄町にある銀河クリーンセンターで、ごみの共同処理を行ってまいりました。しかし、平成31年3月に銀河クリーンセンター埋立地の受入容量が満量になることから、それ以降の処理方法について池北三町行政事務組合を中心に足寄町・陸別町と検討を重ね、その結果、一部のごみについて、帯広市のくりりんセンターで処理を行うことになりました。



ごみ分別の主な変更と具体例



平成31年4月からの分別の種類

くりりんセンターで処理するもの【5種類】

- 燃やすごみ（指定ごみ袋）
※木くずも含む
- 燃やさないごみ（指定ごみ袋）
- 危険ごみ
- 有害ごみ
- 粗大ごみ（ごみ処理券）
※木くずは透明な袋に入れるか、縛っても出せます（無料）

銀河クリーンセンター等で処理するもの【11種類】

- プラスチック製容器包装
- びん類
- 缶類
- 金属類
- 紙パック
- ダンボール
- 廃食用油
- ペットボトル
- 紙製容器包装その他紙類
- 新聞紙・雑誌
- スプレー缶
※小動物は直接搬入のみ受け入れられます（ごみ処理券）

※「燃やすごみ」「燃やさないごみ」「粗大ごみ」以外は透明な袋になります

★ 収集日が変わります！

ごみの種類別に週1回ずつの回収となります（粗大ごみは除く）。

★ 新しい指定ごみ袋・ごみ処理券の料金はこれまでと同額です

サイズ	枚数	金額
5 <small>㍉</small>	10枚入り	250円
10 <small>㍉</small>	10枚入り	350円
20 <small>㍉</small>	10枚入り	600円
30 <small>㍉</small>	10枚入り	900円
45 <small>㍉</small>	5枚入り	600円
ごみ処理券	1枚	200円

★ 現在使用している指定ごみ袋等について

平成31年6月末まで使用可能です。埋立ごみ袋は燃やすごみ袋、生ごみ袋は燃やさないごみ袋として利用できます。

ごみの出し方説明会を開催します

新たなごみの分別・出し方について、次の日程により、4日間3会場で説明会を開催します。ご都合に合わせてお越しください。皆さんの参加をお待ちしております。

10月18日（木）
午後6時30分～午後8時
仙美里地区公民館

10月22日（月）
午後2時～午後3時30分
本別町体育館 中競技室

10月23日（火）
午後6時30分～午後8時
勇足地区公民館

10月24日（水）
午後6時30分～午後8時
本別町体育館 中競技室

本別町ごみ分別パンフレットを発行します！

説明会のなかで出された疑問点やご意見などを反映させながら、最終的にはパンフレットを作成します。これまでごみの分け方・出し方を記載していた「ごみ名人とらの巻」は「本別町ごみ分別パンフレット」と名称を変更し、ごみ収集運搬日程表とともに、広報ほんべつ平成31年3月号と合わせて配布する予定です。

問い合わせ

住民課環境生活担当
☎ 22-8128

開拓功労者謝恩祭



9月15日午前9時30分から山手町頌徳碑前で「開拓功労者謝恩祭」が開かれ、開拓功労者八翁をたたえ、ご冥福を祈念し、出席者全員が献花を捧げました。

開拓功労者八翁

前田	荒井	岡崎	幕内	新津	鈴木	東條
金四郎	深四郎	英作	公一	小太郎	繁松	勝太郎
翁	翁	翁	翁	翁	翁	翁



受賞者を代表して謝辞を述べる砂原勝さん



高橋正夫町長から賞状と記念品を授与される阿保静夫さん

式典には関係者約70人が出席し、町民憲章の朗唱、黙とうに続いて高橋正夫町長が「9月6日未明に発生した平成30年北海道胆振東部地震では、胆振地方を中心に多くの人が被災されました。本町においても、町内全域で発生した停電により日常生活に大きく支障をきたすこととなり、電力が供給されない状況での私たちの生活の脆弱さをまざまざと思い知らされることとなりました。このような時だからこそ、これからも、先人より受け継いだ不屈の開拓者精神を遺憾なく発揮し、歩み続ける所存であります」と式辞を述べ、長年にわたり町発展のために尽力された6人の功労者表彰受賞者のうち、出席した3人に表彰状を手渡しました。引き続き高橋利勝町議会議長が祝辞を贈り、受賞者を代表して砂原勝さんが「今日の感激を肝に銘じ、微力ながらそれぞれの立場で、地域貢献として何ができるのかを考え、努力してまいります」と謝辞を述べました。

平成30年度 本別町開町記念式典

本別町開町記念の9月15日、開拓功労者謝恩祭が山手町頌徳碑前で、平成30年度開町記念式典が中央公民館で執り行われました。



受賞者の皆さん（50音順）



水谷 令子さん
北3丁目

平成17年に本別町教育委員会委員に就任され、以来3期12年間にわたり務められ、この間、教育委員長、教育長職務代理者を歴任し、豊かな人間性を育む教育の推進を図るなど、風土に調和した個性と文化の創造に取り組まれた。

また、本年8月に地域の信望を担い本別町議会議員に立起され、見事当選の榮に浴し、町政に参画、高邁な政治信念を持って本町行政の推進、振興に尽力されている。

これらの活動を通じ教育文化および本町行政の推進、発展に寄与された功績は誠に顕著である。



細田 昇さん
仙美里3

昭和51年本別消防団第3分団入団以来、地域防災防衛の責任と郷土愛護の精神に燃え、平成27年退団まで38年以上の長きにわたり務められ、この間、班長、部長、副分団長、分団長を歴任し、常に冷静沈着な決断にして自ら率先範を示し、精励協働地域の火災防衛および治安の維持に貢献されている。

また、平成23年に本別町農業委員会委員に就任以来、現在まで7年以上にわたり、地域農業の振興と農業者の地位向上に尽力されている。

これらの活動を通じ本町行政の推進、本町農業の発展に寄与された功績は誠に顕著である。



花房 孝典さん
柏木町

昭和57年本別消防団第1分団入団以来、地域防災防衛の責任と郷土愛護の精神に燃え、現在まで36年以上の長きにわたり務められ、常に冷静沈着な決断にして自ら率先範を示し、精励協働地域の火災防衛および治安の維持に貢献されている。

この間、班長、部長、副分団長を歴任し、献身的に防災防圧活動一筋に専念され、消防団の円滑な運営に昼夜を惜まず努力し、団の組織の強化に尽くされた。

これらの活動を通じ本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



砂原 勝さん
南3丁目

平成17年から12年間にわたり、助役・副町長として、卓越した識見と豊富な知識をもって、町長を補佐する立場で関係機関や行政間の意見調整に努められ、特に、本町行財政の健全性、合理性に傾注し、公正妥当な助言、指導的確に行い、行財政の安定化に尽くされた。

また、本町における太陽の丘整備事業、地域包括ケアの体制づくりに尽力され、福祉でまちづくりの基盤確立に大きく貢献された。

これらの活動を通じ本町行政の推進、発展に寄与された功績は誠に顕著である。



佐藤 公昭さん
北2丁目

昭和57年本別消防団第1分団入団以来、地域防災防衛の責任と郷土愛護の精神に燃え、現在まで36年以上の長きにわたり務められ、この間、班長、部長、副分団長、分団長を歴任し、常に冷静沈着な決断にして自ら率先範を示し、精励協働地域の火災防衛および治安の維持に貢献されている。

また、本別町商工会においては、現在、本別町商工会理事として商工会の発展、地域経済の振興に努められている。

これらの活動を通じ本町行政の推進、商工業の振興に寄与された功績は誠に顕著である。



阿保 静夫さん
魚腹1

昭和61年地域の信望を担い本別町議会議員に立起され、見事当選の榮に浴し、町政に参画、総務常任委員会委員長などを歴任され、現在は広報広聴常任委員会委員長に就任、現在8期目を迎え高邁な政治信念を持って活躍されている。

また、平成5年に本別町農業委員会委員に就任され、平成29年までの24年間の長きにわたり、地域農業の振興と農業者の地位向上に尽力された。

これらの活動を通じ本町行政の推進、振興および本町農業の発展に寄与された功績は誠に顕著である。

教育行政の進むべき方向性

町教育委員会では、「平成29年度本別町教育委員会活動状況に関する点検・評価報告書」を作成しました。これは、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、学識経験

者の意見を踏まえ、効率的な教育行政を推進するために毎年行っているもので、今後の教育行政の進むべき方向性についてまとめたものです。この報告書は、町議会に提出するとともに広く町民の皆さんに公表し、次年度以降において更なる事務改善を図りながら効果的な教育行政執行に努めてまいります。

本別町教育委員会 (平成30年3月31日現在)

職名	氏名	職業等
教育長	中野博文	
教育長職務代理人	布施耕一	農業
教育委員	鈴木清志	非常勤職員
教育委員	丑若理恵	農業
教育委員	遠山倫子	主婦

平成29年度教育委員会活動状況点検・評価報告書(抜粋)

平成29年度教育委員会の活動状況

●教育委員会会議の開催状況
(1)毎月1回の定例会議および臨時会議
合計14回(53件の議案を議決)
※うち移動教育委員会会議は、町内小中学校で計4回開催

●法規・規則等の制定および改正状況

(1)教育委員会関係
条例の改正1件 規則の制定1件
規程の改正14件 要綱の制定1件
要綱の改正1件

●教育委員の活動状況

(1)教育委員会関係各事業 計10日・延べ30人
(2)各学校関係各事業 計14日・延べ24人

●各審議会等審議概況

(1)社会教育委員会 3回
(2)スポーツ推進委員会 4回
(3)文化賞審議会 1回
(4)スポーツ賞審議会 1回
(5)学校給食運営委員会 2回

●教育予算の状況

平成29年度の一般教育費の最終予算額(人件費等含む)は8億5398万9000円で、一般教育費予算総額に占める割合は11.1%となっています。

●自己点検評価

毎月定例で開催している教育委員会会議は、教育委員会が抱える課題と現状を把握しつつ、教育行政推進の方向性や施策の構築に向けた審議を行い、実質的な教育行政の決定機関としての機能充実に努めています。

教育行政の推進については、本町が進める生涯学習によるまちづくりの観点から、「ほんべつ学びの日」の普及啓発に努め、教育が未来を担う人材を育成する基盤であるとの認識に立ち、関係部局や関係機関・団体と連携を図りながら、幼児から高齢者まで幅広い取り組みとなるよう努めています。

平成29年度の取り組みとしては、28年度から引き続き、学校を核として地域全体で子供たちの学びを育むため、保護者や地域住民が学校運営に参画する「コミュニティ・スクール」導入に向けた調査・準備を勇足地区で進めました。また、平成29年度からは本別・仙美里地区においても調査・準備を進め、勇足地区においては平成30年度に、本別・仙美里地区においては平成31年度にコミュニティ・スクールを本格導入する予定です。また、国際理解教育の推進を図るため、英語を本町の学びの主軸の一つに掲げ放課後英語活動等の授業を推進していきまし。時代の変化に対応した教育施策の推進については、教育的政治的中立性、継続性、安定性を確保しつつ、平成27年度に策定した「本別町総合教育大綱」の方針に基づいた施策を確実に実践するよう努めています。

●今後の方向性

教育の政治的中立性、継続性・安定性の確保については、中立公正が極めて重要なことから従前からの合議制を堅持しつつ、一貫した方針の下で執行機関のチェック機能を高めるとともに、広く地域住民の意向を反映した取り組みを推進してまいります。ほんべつ学びの日の取り組みについては、「ほんべつ学びフェスタ」を通して学びの関心を高めるとともに、家庭・学校・地域と連携して四つの風「光風・祈風・夢風・実風」事業を展開してまいります。

また、英語を本町の学びの主軸に位置付け、小中学校のみならず、誰もが気軽に参加できる英語学習の場を設定してまいります。今後におきましても、効果的な教育施策を展開するため、教育委員会の重要性和教育委員としての認識を高め、町民の皆さんに信頼される教育委員会として教育行政の執行に努めてまいります。

「平成29年度本別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書」の全文については、本別町公式ホームページでご覧になれます。
<http://www.town.honbeisu.hokkaido.jp>

問い合わせ 教育委員会管理課総務担当 ☎222-2331



少年少女文化スポーツ奨励賞授賞式



成人式・成人のつどい



資料館 多賀新ふるさと展



義経の里スポーツフェスティバル



ほんべつ学びフェスタ



コミュニティ・スクール・熱議

国民年金 コ-1

年金手続きには
マイナンバーが
必要です!

その198

平成30年3月5日から、年金に関する届け出について、マイナンバーによる届け出・申請が開始されています。これまで基礎年金番号を記入していた書類には、原則としてマイナンバーを記入していただくこととなります。

●マイナンバーをご持参ください

国民年金加入手続きや免除申請、年金請求手続きなど、マイナンバーを記入して届け出をするときは、マイナンバー法による本人確認が必要となります。次の書類をお持ちください。

- ・マイナンバーを確認できる書類
- ・マイナンバーカード、通知カード
- ・本人確認書類
- ・マイナンバーカード、運転免許証、旅券(パスポート)、在留カードなど

※本人確認書類は2種類必要になる場合があります

●住所変更等の届け出が原則不要になりました

平成30年3月5日以降、国民年金被保険者や年金受給者に住所・氏名等の変更があった場合、日本年金機構が住民票の変更情報をもとに、年金記録の住所・氏名等の情報を変更します。このため、本人からの変更届出は不要となりました。

※日本年金機構がマイナンバーが未収録の人は、右記の変更手続きができないため、引き続き住所変更等の届出が必要となります

●年金受給者が氏名変更をしたとき

日本年金機構が住民票の変更情報をもとに、年金受給者の氏名変更を行ったときは、「氏名変更のお知らせ」が送付されますので、速やかに金融機関の口座名義の変更手続きをお願いします。また、お近くの年金事務所、新しい氏名の年金証書と交換手続きをしてください。



詳しくは
住民課 戸籍年金担当 ☎222-8128
帯広年金事務所 ☎0155-251-8113
日本年金機構のホームページは
<http://www.nenkin.go.jp/>

③ その他の手当（普通会計）

（平成30年4月1日現在）

手当名	内容および支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (平成29年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (平成29年度決算)
扶養手当	配偶者 6,500円、子1人につき 10,000円 父母等1人につき 6,500円 満16才の年度初めから満22才の年度末までの子1人につき 5,000円加算	同じ		11,993千円	203,271円
住居手当	〔借家〕月額16,000円以下の家賃⇒家賃の月額-5,500円 月額16,000円を超える家賃⇒ （家賃の月額-16,000円）の2分の1（2分の1 限度額9,500円）に10,500円を加算 〔持家〕月額15,000円以内（新築10年間2,000円加算） 新築20年経過以降 月額10,000円以内	異なる	〔借家〕 借家限度額 27,000円 〔持家〕なし	16,643千円	189,125円
通勤手当	〔交通機関利用〕月額限度額 50,000円 〔交通用具利用〕片道5km未満 2,000円 5km以上～10km未満 4,200円 10km以上～15km未満 7,100円 15km以上～20km未満 10,000円 20km以上 12,900円	異なる	〔交通機関利用〕 55,000円 〔交通用具利用〕 20km以上60kmまで 5km刻みで支給額を設定	1,529千円	44,971円
管理職手当	13% 院長、副院長、医長 13% 課長、室長、事務局長 12% 主幹 10% 課長補佐、次長	異なる	課長 職定額 課長補佐 職定額	13,936千円	536,000円
夜勤手当	25%増し	同じ		196千円	49,000円
宿日直手当	1回 4,200円	同じ		1,537千円	23,288円
寒冷地手当	〔世帯主〕扶養親族のある職員 131,900円 扶養親族のない職員 72,900円 〔その他の職員〕51,700円	同じ		11,372千円	90,976円

◆ 特別職等の報酬等の状況

（平成30年4月1日現在）

区分	給料または報酬の月額	期末手当の支給割合
給料	町長 747,000円	6月 2,025月分
	副町長 616,000円	12月 2,175月分 合計4,20月分
	教育長 562,000円	加算措置：当分の間支給停止
報酬	議長 292,000円	6月 2,025月分
	副議長 230,000円	12月 2,175月分 合計4,20月分
	議員 185,000円	加算措置：当分の間支給停止

◆ 職員の分限及び懲戒処分等の状況

職員の懲戒の件数（平成29年度）

処分事由	地方公務員法	戒告	減給	停職	免職	合計
法令に違反した場合	第29条第1項第1号	0	0	0	0	0
職務上の義務に違反し、又は職務を怠った場合	第29条第1項第2号	1	0	0	0	1
全体の奉仕者たるにふさわしくない非行のあった場合	第29条第1項第3号	0	0	0	0	0
合計		1	0	0	0	1

（注） 職員のうち地方公務員法に基づき懲戒処分が付された職員の状況であり、当該年度において同一の職員が複数回にわたって懲戒処分が付された場合は、重複して計上している。

問い合わせ 総務課庶務担当 ☎22-8120

公平性・透明性を目指して

町のホームページ <http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/> でもご覧いただけます

本別町職員の人事行政の運営等の状況を公表します

公務員制度の公平性、透明性の確保などを目的に給与等の状況のほか人事行政の運営等、各市町村の制度がどのようにになっているかを公表することが地方公務員法で義務付けられています。

町民の皆さんに町職員の給与などの概要をお知らせいたします。

◆ 一般行政職の平均給料月額、平均年齢の状況

（平成30年4月1日現在）

区分	平均給料月額	平均年齢
大学卒	287,000円	38.1歳
短大卒	344,100円	46.7歳
高校卒	306,200円	41.2歳
中学卒	364,300円	49.3歳
再任用	254,800円	60.8歳
全平均	303,900円	41.4歳

（注） 「平均給料月額」とは、平成30年4月1日現在における職員の基本給の平均である。

◆ 一般行政職の職級別職員数

（平成30年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	前年度（平成29年4月1日現在）	
			職員数	構成比
1級	主事、技師、主事補、技術補	27人	24.6%	28人 25.9%
2級	主事、技師	5人	4.5%	2人 1.9%
3級	主査、副主査、主任	21人	19.1%	21人 19.5%
4級	課長補佐、次長、主査、副主査	27人	24.6%	32人 29.6%
5級	課長、室長、課長補佐、次長	16人	14.5%	13人 12.0%
6級	課長、室長、事務長、事務局長	14人	12.7%	12人 11.1%
合計		110人	100.0%	108人 100.0%

（注） ・本別町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
・標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。
・平成19年度から6級制に移行している。

◆ 職員の初任給の状況

（平成30年4月1日現在）

区分	本別町		国		
	初任給	2年後の給料	初任給	2年後の給料	
一般行政職	大学卒	179,200円	191,100円	179,200円	191,100円
	高校卒	147,100円	155,500円	147,100円	155,500円

◆ 職員に対する手当の状況

① 期末手当・勤勉手当

	本別町		国	
	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
1人当たり平均支給額 (平成29年度)	1,418千円		-	
平成29年度 支給割合	2.60月分 (1.45)月分	1.80月分 (0.85)月分	2.60月分 (1.45)月分	1.80月分 (0.85)月分
加算措置 の状況	職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%～15%		職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算5～20% ・管理職加算10～25%	

（注）（ ）内は、再任用職員に係る支給割合である。

② 退職手当

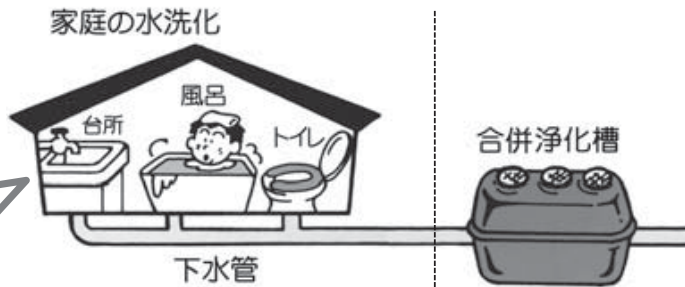
（平成30年4月1日現在）

支給率	本別町		国	
	自己都合	勸奨・定年	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	19.6695月分	24.586875月分	19.6695月分	24.586875月分
勤続25年	28.0395月分	33.27075月分	28.0395月分	33.27075月分
勤続35年	39.7575月分	47.709月分	39.7575月分	47.709月分
最高限度額	47.709月分	47.709月分	47.709月分	47.709月分
その他の 加算措置	定年前早期退職 特例措置 (3%～45%)		定年前早期退職 特例措置 (3%～45%)	

本別町全域(本別市街地の公共下水道区域を除く)で合併浄化槽が設置される地域は、平成30年11月末日までにお申し込みください



個別排水処理施設の仕組みと



排水設備 (個人設置・個人管理)

家庭の水洗化の費用は個人負担です

◎ 排水設備工事費
… 約60万円～80万円

(トイレの改造、給水、屋外排水管などの工事で、家の間取り、便器の種類などにより異なります)

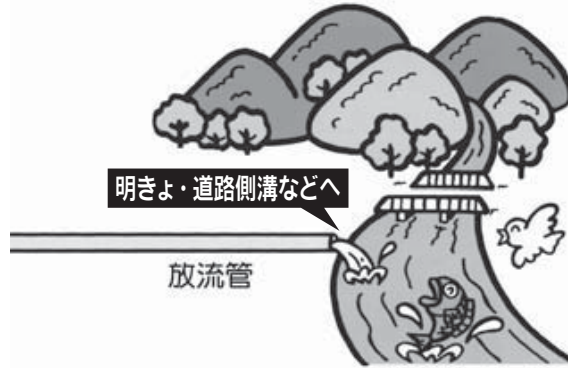
排水設備工事の融資制度
(住宅1戸につき便器2基まで)

区分	金額	適用
融資制度	60万円以内 (便器1基につき)	月1万円の均等償還 (無利子)

新築の場合は該当となりません



受益者が負担する金額



個別排水処理施設 (町設置・町管理)

◎ 設置時
受益者分担金

- ※10人槽までは100,000円
- ※11人槽以上は、1人槽増すごとに15,000円を100,000円に加算した額となります
(翌年度から年4期、5年分割の20回払い)

◎ 設置後

● 使用料(毎月)

5人槽	…3,183円
7人槽	…3,982円
10人槽	…5,163円
11人槽以上	…10人槽の料金に1人槽増すごとに432円を加算した額

浄化槽の
汲み取り・点検は
町で行います

- 電気料(毎月)……約800円～1,800円
(5人槽～10人槽の場合)
浄化槽内のばつ気のためのもので浄化槽の規模により異なります

平成31年度に設置を希望する人は、平成30年11月末日までにお申し込みください

合併浄化槽が設置される地域は、平成30年11月末日までにお申し込みください



お申し込み
お問い合わせは
建設水道課
水道・下水道担当
☎22-8122



きらめくKID'S×とるね撮影会



オクラホマの2人がBean's-1グランプリを体験



ふわふわランド



○CTVコーナー



フリークライミング



本別中学校吹奏楽部演奏



郷土芸能 本別小唄



うまいもの市で本別グルメを堪能



浅章仲見世の手焼きせんべい



J A 青年部の新鮮な野菜が人気

東十勝花火大会6000発!



花火点火セレモニー



歌謡ショー 丘みどり



歌謡ショー 平松愛理



歌謡ショー こおり健太

約4万3000人が来場! 初秋のほんべつを満喫

開催当日、心配されていた天候も回復し、2日間とも素晴らしい好天に恵まれたことから、町内はもとより、十勝管内外から多くの家族連れや友人同士などが会場に訪れました。会場では地元食材を使ったうまいもの市や友好都市徳島県小松島市物産市、包括連携協定を結ぶ白糠町物産市など、たくさんの出店が並び賑わいを見せたほか、1日目には、6000発の花火が秋の夜空に大輪を咲かせた東十勝花火大会、2日目には、丘みどり、平松愛理、こおり健太、近江亜矢の4人が出演した歌謡ショー、戦隊ショー、ポニーばんばレースなど多彩な催しが行われました。また、子供たちに人気のふわふわランドやフリークライミングのほか、豪華景品の当たるお楽しみ抽選会などが両日を通して盛大に催されました。

今年で22回目を迎えた、本別最大のイベント「ほんべつきらめきタウンフェスティバル2018（実行委員会主催）」が9月1日、2日の2日間、利別川河川敷地特設会場で開催されました。

第22回ほんべつきらめきタウンフェスティバル2018



好天の下、家族連れなど2日間で約43,000人が来場

ほんべつきらめきタウンフェスティバル2018 終了御礼

9月1日・2日の両日、利別川河川敷地特設会場で開催いたしました第22回ほんべつきらめきタウンフェスティバル2018は、両日とも天候に恵まれ、2日間で約43,000人にご来場いただき、大盛況にて終えることができました。

十勝管内をはじめ、道内外からご来場いただいた皆さま、また、イベントにご理解、ご協力賜りました企業、団体、協賛各社と会場周辺の自治会、そして町民の皆さまに改めて心より厚く感謝を申し上げ、終了御礼のあいさつといたします。

本別きらめきタウンフェスティバル実行委員会 会長 野田 仁



和太鼓松村組本別公演



— 鎮魂と平和への祈り込めて —

今年30周年を迎える町芸術文化振興会（朝日基光会長）の記念事業として、和太鼓松村組本別公演が9月9日、中央公民館で開催されました。

第一部では、本別義経太鼓保存会など管内から集まった和太鼓6団体が友情出演し、それぞれの地域性あふれる演奏が披露されました。第二部では、和太鼓松村組が登場し、和太鼓による力強い演奏や、マリンバやオカリナ、民族楽器等を組み合わせた演奏を披露、迫力のある演奏に、会場からは大きな拍手が沸き起こりました。最後には、和太鼓松村組と同6団体の全員が、「北の灘」を合同で演奏し、幕が閉じました。和太鼓松村組は、阪神淡路大震災の発生後、復興への思いを全国に発信しようとして発足。9月6日に発生した北海道胆振東部地震の被災地・厚真町出身のメンバーも在籍していて、松村公彦代表は「鎮魂と平和への祈り込めて奏でます」と語りました。

1. 和太鼓松村組と管内の和太鼓6団体による合同演奏
2. 和太鼓やマリンバなどが融合した演奏を披露
3. 本公演には約500人が来場し、演奏を堪能しました

和太鼓松村組音楽ワークショップ

和太鼓松村組本別公演に併せて音楽ワークショップが9月8日、中央公民館などで行われました。和太鼓松村組のメンバーが講師となり、初心者部では和太鼓の、経験者部では和太鼓とオカリナの指導を受けました。初心者部には14人、上級者部では3人が町内外から参加。演奏のコツなどについて指導を受け、楽しく学びました。



本別町は開拓時代から教育に寄せる情熱が強く、十勝でも先駆けといえる存在でした。明治時代の義務教育、大正時代の女子教育に続き、昭和になると青少年の高い教育を望む声が大きくなり、十勝では帯広に次いで2番目となる旧制中学校が創設されました。

「歴史写真館@ほんべつ」7回目は、昭和17（1942）年に開校した「本別町立本別中学校」の写真が始まり、76年の伝統を持つ町の高校、現「北海道本別高等学校」の歴史を紹介いたします。



①「バラック校舎」と呼ばれた仮校舎（昭和18年撮影／歴史民俗資料館所蔵）



③ 現校舎の司書室から発見された古文書（漢文の教科書が）

② 昭和59年卒業生が着用していた女子用制服（アイトン型ジャケットとボクスブリーツスカート）

本別町は昭和12（1937）年、開基40年を記念して町是（町の振興のための方針や施策）と町是（教育理念や計画）を定め「物心両面の豊かな郷土」を目標としました。時代は軍国主義へと進む中、町と有志の活発な設立運動、校地寄贈などの厚意により、同17（1942）年、町立本別中学校が開校。十勝では帯広中学校（現帯広柏葉高校）に次ぐ町民待望の創立でしたが、当時の本別国民学校（後の本別小学校）の一部を借り受けてのスタートでした。

写真①は、同18（1943）年4月から、新校舎落成の10月まで使われた仮校舎です。1期生が砂利運びや整地の重労働を担って完成した初代校舎で、教室は砂利の上に机、戸にはムシロ、節穴から隣の教室が覗けたと言います。その後、新校舎は同20（1945）年に空襲、同38（1963）年には火災に見舞われますが、同39（1964）年に3代目となる校舎が完成。平成4（1992）年に新築された現校舎は、4代目となります。

写真②は、創立30年の昭和47（1972）年から、約20年間着用されていた女子の制服です。当時は上着丈が短

写真③は、昨年、図書室隣の司書室で発見された資料です。明治時代の漢文のテキスト、伊達正宗や仙台藩に関する書物：どのような経緯で同校に保管されていたのか謎でしたが、歴史民俗資料館で調査した結果、前の校舎のころ、仙台上ルーツを持つ用務員さんが持ち込んだものと分かりました（詳細は継続調査中。旧制町立中学校は名称を重ね、昭和23（1948）年の学制改革によって新制北海道立本別高等学校へ。同年、全道でわずか3校の男女共学学校であり、男子校に女生徒が入ったのは本高が初めてでした。伝統の中にも時代の先を行く校風が感じられます。

お問い合わせ
歴史民俗資料館
0222-21141 内4110
図書館 0222-51112

HELLO 本別中央小学校

学校教育目標
 自らを高めようとする子ども
 考える子(知)
 助け合う子(徳)
 がんばる子(体)

春に新1年生28人を迎え、全校児童192人で今年度がスタートしました。
 今年度は「あいさつ、返事、後片付け」の合い言葉に、「お礼」や「感謝」を加え、より子供たちが元気いっぱい笑顔いっぱいに登校できる学校となるよう、家庭・地域の協力をいただきながら特色ある教育活動に取り組んでいます。

1 年 生

4月9日に入学してから、学校生活の中でたくさんのことを経験し、毎日元気に登校しています



4月に入学した新1年生。1学期が終わり、学校生活にもすっかり慣れました。給食の準備や係活動も、自分たちでできるようになってきました。交通安全教室で学んだ正しい交通ルールを守り、毎日元気に安全に登校しています。



縦割り班活動

異学年交流を通して、互いに思いやり、協力し合う態度を育てることを目的として、縦割り班活動を行っています



全校児童を10班に分け、花壇の花植えやスポーツ集会、縦割り給食等を行います。それぞれの活動を通して、上級生が下級生の面倒を見ながら、みんなで協力して取り組む、本別中央小学校の良き伝統となっています。



防犯教室

今年度の防犯教室は、毎年行う「不審者対応」に、「SNSやネットのトラブル」を加え、二度開催しました



ネット被害の低年齢化が加速している現状を憂慮し、二度目の防犯教室は「ネットゲームの危険」などを2~4年で、「ネットトラブル全般」を5・6年で行いました。本別警察署の生活安全係の協力を得て実施。どの子どもも真剣に学習しました。



本中生が、 札幌で本別をPR

8 23

本別中学校(寺島康博校長)3年生44人が8月23日、修学旅行で訪れたJR札幌駅で本別町の特産品やイベントをPRしました。この取り組みは、総合学習の一環として、生徒が本別の魅力を再発見してPR活動をすることで、郷土愛の醸成や発表する力を養うために行われたもの。生徒らは同駅構内で、事前学習で自ら手作りした町内の情報が満載されたリーフレットやキレイマメ製品などを多くの人に手渡し、本別町への来町を呼び掛けました。



町内外の若者が集う

8 12

ほんべつ若者の輪創造プロジェクト実行委員会(古澤元基実行委員長)による焼き肉交流イベントが8月12日、本別大橋下の河川敷地で開催されました。このイベントは、JAや商工会など町内5つの青年団体を中心に、町内に住む人や町内で働く若い人たちの交流として行われたもので、今回は焼き肉に加えて流しソーメンも登場。参加者約30人は焼き肉を食べながら会話を弾ませ、職場を越えた交流を楽しみました。



地域ぐるみで 防犯活動を

8 12

南4丁目自治会交通防犯部(薩田幸春部長)が8月12日、同自治会内で防犯パトロールを行いました。参加した20人は反射タスキを胸に掛け、異常がないか確認しながら各家庭を1軒1軒訪問して、防犯に関するチラシやグッズを配付。パトロール終了後は世代交流館に集まり、本別警察署刑事生活安全課の今津甚生活安全係長が管内における空き巣や特殊詐欺などの犯罪状況について講話し、地域ぐるみで行う防犯活動の大切さを語りました。



本別でスポーツ交流

8 26

第51回十勝管内商工会青年部連合会スポーツ大会(実行委員会主催)が8月26日、河川敷地の陸上競技場で行われました。同大会は管内持ちまわりで毎年開かれており、本町での開催は9年ぶり。18町村から参加した各商工会の青年部員ら約250人は、本別競輪やワイン樽転がしなど全8種類の競技を対抗戦で行い、日差しが降り注ぐ中、スポーツを通じて交流を図りました。



子供たちの豊かな感性を刺激 9 11

町学校教育振興会が主催する芸術鑑賞会が9月11日、本別中央小学校で開催され、町内3小学校の児童と保護者など計約300人が集まりました。同鑑賞会は児童らの芸術に対する理解を深めることなどを目的に、今年はいのき屋による「わいわい音楽隊！」を公演。和楽器を中心にいろいろな楽器を使い、祭囃子をベースにした曲の演奏や、まねっこ太鼓、ピンポン球実験など、体験型の舞台が繰り広げられ、児童らは体を使って踊ったり歌ったりして、普段見る機会の少ない音楽ステージを楽しみました。



中学生が本別高校を丸ごと体験 8 28

本別高校が8月28日、同校の教育内容を近隣の中学校の生徒や教員、保護者に理解深めることを目的に本高オープンスクールを実施しました。本別・勇足中学校の全3年生のほか浦幌町など、6校から約80人が参加。生徒らは5グループに分かれて国語や生物などの授業を見学した後、英語や数学などの授業を実際に体験しました。オリエンテーションでは近藤浩文校長が「学習指導も進路指導も万全です」とあいさつし、生徒会や卒業生代表から校内活動や卒業後の進路などが紹介されました。



乳幼児の救急救命を学ぶ 8 27

子育て支援センター主催による子育てママのためのリフレッシュ講座およびすきやき隊の研修会が8月27日、同センターで行われました。この日は救急救命講座として、本別消防署職員2人が講師となり、乳幼児の胸骨圧迫や人工呼吸の仕方、AEDの使用について説明。参加したママら14人は乳幼児の人形を用いて実際に練習し、同職員のアドバイスを受けながら、いざというときのための救命方法を学びました。



子供たちのため、きれいな学校に 8 26

本別中央小学校PTA（今野雅徳会長）が8月26日、同校で環境整備の作業を行い、保護者ら19人が参加しました。昨年は遊具の塗装を行いました。3年目の取り組みとなる今年には花壇の整備や、校門から続くフェンスおよび児童玄関スロープの塗装を実施。参加者らは丁寧に作業を行い、雨などでさび付いたフェンスやスロープはきれいな青空の色に塗り替えられました。



笑って長生き 9 12

町社会福祉協議会（糸田達一会長）主催による、第15回本別町社会福祉大会が9月12日、中央公民館で開催されました。はじめに社会福祉発展の功績を称える功労者表彰が行われ、2団体・24個人が表彰されました。続いて記念講演として、漫談家で介護福祉士であるメイミさんが登場。介護漫談や来場者250人とともに手話や体全体を使ったゲームなどで「笑って長生き」について講演し、メイミさんは「健康でいるためには毎日が明るく楽しいと思うこと。1日どれだけ笑顔で過ごしているのか振り返ってみるのはいかがでしょうか」と語りました。



ようこそ本別へ！ 新規就農者を激励 8 29

平成30年度新規就農者激励会（町およびJA本別町主催）が8月29日、津村会館で行われました。町内に新規参入のほか、Uターンや結婚などで新たに就農した12人が参加。町やJA、農業委員会など農業関係者26人が出席してそれぞれを激励しました。懇親会でのあいさつでは、「夫の両親がやさしく、地域の農家の皆さんが助けてくれる」「同世代の農家が生き生きしている。強いつながりを感じる」などと本別の印象や就農への抱負を語りました。



本中陸上部が全道大会出場 8 27

十勝管内の予選を勝ち抜き、第20回北海道ジュニア陸上競技選手権大会（小樽市）および第25回北海道中学校新人陸上競技大会（釧路市）に出場する本別中学校陸上部（志谷遥名部長）の生徒4人が8月27日、教育委員会を訪れ、佐々木基裕教育長に全道大会の出場を報告しました。各選手たちは「練習の成果を出し切りたい」など大会への抱負を力強く語り、佐々木基裕教育長は「平常心で目標に向かって頑張って」と激励しました。



全道大会の結果
 決勝進出を逃したものの、自己ベストの更新や準決勝に進出するなど健闘しました。

地域や家族とふれあう祭り 8 26

町老人ホームのふれあい祭りが8月26日、同施設前駐車場で行われました。会場では職員が手作りのカレーライスやきそば、かぼちゃだんごなどが並び、義経太鼓や本中吹奏楽部が演奏を披露。音楽健康指導士による健康体操ではカラオケに合わせて体を動かすなど、入所者やその家族、地域住民など約220人の来場者は楽しいひとときを過ごしました。



未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。お父さん、お母さんのたぐさんの愛に包まれてすくすく元気に育ってね！



北の目
高橋 我空
(由華ママ)



錦町
岸田 優馬
(依重ママ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

みんなの健康

410

平成26年度の保険改正により、コンピュータを用いて、ハイブリッドレジンから削り出された小臼歯部のかぶせ物であるCAD/CAMキャット

コンピュータ作成によるかぶせ物



医療法人社団 賀陽歯科医院 院長 賀陽 真哉

金属では白い歯に治すことができるようになります。そしてさらに、平成29年度には条件付きではありますが、下顎の第一大臼歯にも適用されるようになり、金属のかぶせ物からの脱却が始まっています。金属のかぶせ物は、見た

目が悪いだけではなく、金属アレルギー・菌ぐきの着色・噛み合わせの不調の原因となります。ハイブリッドレジンとは、プラスチックにセラミックを混ぜ合わせることで、プラスチックの弱点を補い生体に害の無いようにした材料です。コンピュータを用いた削り出すことで、狂いの無い、材質そのものの良さを生かすことができます。

もちろんこの技術は、保険のかぶせ物に限らず、自費のかぶせ物の材質に制約が無いので、もっとその良さを発揮させることができます。以前より安価で、即日の完成をも実現することができるようです。また入れ歯には応用されていませんが、夢のような歯科治療が現実となってきました。

本と人とのコミュニケーション、一緒に楽しみませんか？

～図書館ボランティアがつくる～

「図書館ボランティアのつくりかた」をテーマに、図書館を拠点として「本のなかのなか」を楽しく学びながら、図書館を拠点とする。年齢・性別・経験は問いません。どなたでも大歓迎です。興味のある人はぜひご連絡ください。

問い合わせ

小泉 優子 022-173311
沼田 久枝 023-12706



- ★ 絵本が好きな人 = 読み聞かせをしませんか？
 - ★ お茶が好きな人 = びっくるカフェをしませんか？
 - ★ 手仕事が好きな人 = 小物づくりをしませんか？
 - ★ 読書が好きな人 = 図書館イベントのお手伝いをしませんか？
 - ★ 大きい声を出したい人 = 朗読や懐メロを楽しみませんか？
- どれかひとつでも、一緒にやってみましょう！

ご寄付ありがとうございます

平成30年8月16日から9月15日

次の通りご寄付をいただきました。紙上を借りて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- ★本別町老人ホーム指定
- タオル100枚 錦町 大住 孝一
 - きゅうり2kg・ミニトマト7kg 勇足西4 逸見 孝雄
- 個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
- 計 金 2,650,000円 204人

銀河ホップダンス

足寄町

ナイトミュージアムに

新企画！

今年のナイトミュージアムは、メキシコを中心に中南米で行われる「死者の日」(日本のお盆のようなお祭り)に似て、たく

陸別町

第57回 陸別町文化祭

今年の文化祭のテーマは「ふるさと100(飛躍)年 感謝と未来への誓い」です。展示部門では作品展示期間



さんのガイコツがお迎えます。さらに今年は、仮装をして入場すると特典もありますので、ぜひお越しください。

日時 10月27日(土)
午後6時～午後7時30分 (入館)

会場 足寄動物化石博物館
内容 暗闇ミュージアム(発掘など)
持ち物 懐中電灯
お問い合わせ 足寄動物化石博物館
025-191000

が昨年より長くなりました。陸別町民による絵画、写真、書道、手芸などの作品をお楽しみください。皆さまの来場をお待ちしております。

○展示部門 (タウンホール)
10月27日(土)～11月3日(土)
午前9時～午後6時
○芸能発表 (タウンホール)
11月4日(日)
午後1時～午後3時30分
お問い合わせ 陸別町教育委員会
027-12123

本のある暮らし

211

本のまち 夢づくり講演会

テーマ 夢みるチカラ

戸籍のまど

お誕生

8月後半から
9月前半の
届出分

南部 充瑠くん 恭平さん 8/16 勇足元町

今津 璃香ちゃん 甚希さん 9/13 向陽町

おくやみ

大風 愛子さん 92歳 8/16 栄 町

平栗 つるよさん 80歳 8/17 向陽町

山本 クニ子さん 89歳 8/19 勇足元町

綾野 實さん 90歳 9/4 勇足元町

吉川 操さん 90歳 9/4 美里別東2

今年度の「本のまち夢づくり講演会」は、京都市から永田萌（ながた・もえ）さんをお迎えして開催します。永田さんは、イラストレーター、絵本作家、エッセイストとして活躍するかたわら、子育て支援についても精力的に活動されています。子どもが夢を持つことの大切さや絵本が持っている力についてなど、子どもを取り巻くすべての大人の皆さんに聞いていただきたいお話です。ぜひ、ご参加ください。

とき 11月2日(金) 午後6時30分から

ところ 本別町体育館中ホール ※午後6時開場



講師 永田 萌さん

講演のほか、絵をスクリーンに映しながらの読み聞かせ、サイン会もあります。夢あふれる素敵な作品と会いましょう！



新刊 「クリコさんと笑わないクマ」

●プロフィール●

1949年兵庫県生まれ。京都市在住。1975年にフリーイラストレーターとして独立。絵本・画集等の出版、郵便切手やサンタメール、イベントポスターやキャラクターのデザインを多数手掛け、国内外で展示会を開催。従来のカラーインクによる作品のほか、最近ではアクリル絵の具や絹を使った制作も。2016年京都市こどもみらい館館長、2018年姫路市立美術館館長、成安造形大学名誉教授に就任。

わたしたちのまち

前月比

人口 7,116人(-20)

男 3,492人(-6)

女 3,624人(-14)

世帯数 3,688戸(-9)

〔8月末日住民基本台帳〕

お問い合わせ先

本別町図書館

(愛称:ぶつくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112